

恩納村学校支援地域本部事業 「できるひとが できるときに できることを」 【恩納村遺族会より平和を学ぶ】

安富祖中学校1年生（18名）が平和学習の一環で、6月27日に行われた恩納村戦没者慰霊祭に参加、全員で平和の詩の群読を披露し、会場中に感動を与えました。生徒たちはその後、村遺族会と交流しながら、戦争体験の聞き取りを行いました。参加した遺族の皆さんが、辛かった経験を思い出しながらも戦争の悲惨さ、平和の大切さを直接語ってくださったことは生徒たちにとって大変貴重な学びとなりました。また学習のまとめとして、7月17日には、遺族会の皆さんを招待しての平和学習発表会が行われました。生徒たちの発表には、戦争を生き抜いた遺族の皆さんの想いをしっかりと語り継いでいくことへの強い決意が表れていました。学校支援に関わってくださった遺族会、地域の皆さん、大変ありがとうございました。



★お問合せ★恩納村学校支援地域本部
(教育委員会 社会教育課内)

☎966-1210 (比嘉・安永)

土壌保全の日イベント



7月12日、南恩納・渡り座地区で沖縄県が主催する「土壌保全の日」が開催され、村長や玉城デニー知事、ゆうな保育園の園児たちが参加しました。

園児たちによるダンスの披露のあと、約200人の参加者の皆さんで赤土対策植樹（ベチパー 1,000本）作業を行いました。

サンゴの村づくりに向けた環境配慮「電気自動車サンナ号」も出動し、駐車場からイベント会場までの送迎も行いました。

県民育樹行事

7月30日、県民の森において県民育樹行事が開催され、長浜村長はじめ、県環境部長、一般参加者や緑の少年団等合わせて約300人の参加がありました。

今年の12月には、初めて沖縄県で全国育樹祭が開催されます。これらの行事が、改めて森林の役割や大切さ等について考えてみる機会になればと思います。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

地域協力協定締結式



7月19日、村役場で郵便局と協力して地域を見守る「恩納村地域における協力に関する協定」の締結式が行われ、長浜村長や伊禮かやの恩納郵便局長など関係者らが出席しました。

この協定は、地域の皆さまが安心して暮らせる地域づくりを実現することを目的とし、郵便局の業務中に高齢者や子どもの異変、道路の破損、不法投棄の発見など情報提供を行うものです。

長浜村長は「協力し合い、住みよい村づくりを目指していきましょう」と話し、伊禮局長は「そばにいるから、できることがある。を合言葉に、豊かな暮らしの実現に貢献していきたい」とあいさつしました。

